



知識経済 | への移行 を目指して

金融サービス、貿易・物流、観光、そして専門サービスという4つの主要産業が、長きにわたり香港を支えてきました。しかし、この活力に満ちた都市は立ち止まることがありません。いま香港は、香港の優位性が際立つ6つの新たな産業を急速に発展させています。これらの産業は、香港が知識を基盤とした経済へと向かう動きを加速し、最先端を進む都市としての香港の地位を維持するとともに、その継続的な繁栄を確保するものです。

2011年3月に発表された国家第12次5カ年計画には、香港が明らかな優位性を持つこれら6つの産業を振興することに対する中央政府の支持がはっきりと打ち出されています。6つの産業は、以下の通りです。

- ・ 医療
- ・ 環境産業
- ・ 試験・認証
- ・ 教育
- ・ 技術革新・科学技術
- ・ 文化・クリエイティブ産業



医療

香港—医療サービスのハブ

非常にレベルの高い民間医療機関、優秀な医師・歯科医師や医学研究施設を擁する香港は、世界クラスの医療センターとしての地位を確立しつつあります。

現状と今後の方向性：

- ・ 民間病院建設用地4カ所を確保。うち2カ所については、2012年第1四半期に入札予定
- ・ 医療教育全般を強化
- ・ 中医学を振興
- ・ よく使われる漢方薬200種に関し、基準を策定
- ・ 中医学の規制を強化し、中成薬（飲みやすい形にした漢方薬）の登録制度を全面实施
- ・ 中医学と西洋医学を組み合わせた医療サービスモデルを探る
- ・ 中国本土や世界各地の中医学者との交流を促進



医療

医学研究：

- 香港の研究者は、高度な医学研究の多くの分野で世界をリードしている。例えば、成人間生体肝移植、非侵襲的出生前診断、また白血病治療における亜ヒ酸の経口投与に関し、他に先駆けて画期的な成果を上げた
- 英・タイムズ紙の「2011年タイムズ高等教育版」の調査で、香港大学は臨床、前臨床、健康関連分野においてアジア2位、また世界で34位の大学と評価されている
- 健康保護センターの公衆衛生検査サービス部門は、重症急性呼吸器症候群（SARS）、H5N1型鳥インフルエンザ、麻疹に関する世界保健機関（WHO）のリファレンスおよび確認研究施設であり、また国際的に認知された結核研究施設（Supranational Reference Laboratory）でもある
- 中国の大手バイオ企業、北京華大ゲノム研究センター（Beijing Genomics Institute）が、その主要研究所であるBIG（Hong Kong）を香港に設けており、香港はバイオ技術の拠点となろうとしている



環境産業

香港— 環境サービスのリーダーを目指して

香港は、より環境に配慮したクリーンな都市になるとともに、廃棄物管理、環境工学、コンサルタントサービスといった環境産業の振興を図ろうとしています。

また、環境に配慮した製品や技術、サービスに関するアジアの一大中心地となることを目指しています。

現状と今後の方向性：

グリーン調達

- ・ 香港政府のグリーン購入リストの品目数は、100以上に拡大。政府はサービスや公共事業についても、グリーン調達を推進している

グリーン建築

- ・ 2010年11月に制定された「建物のエネルギー効率に関する条例」により、空調、電気設備、エレベーター、エスカレーター、照明設備など、新築建物の主要設備についてエネルギー効率の基準が定められている
- ・ 既存の建物も、大規模改修の際には同条例の順守が求められる
- ・ 商業ビルの集中ビルサービス施設については、10年ごとにエネルギー監査の実施が義務付けられており、電気、機械、環境工学、またビルサービス分野の企業にビジネスチャンスを提供している



環境産業

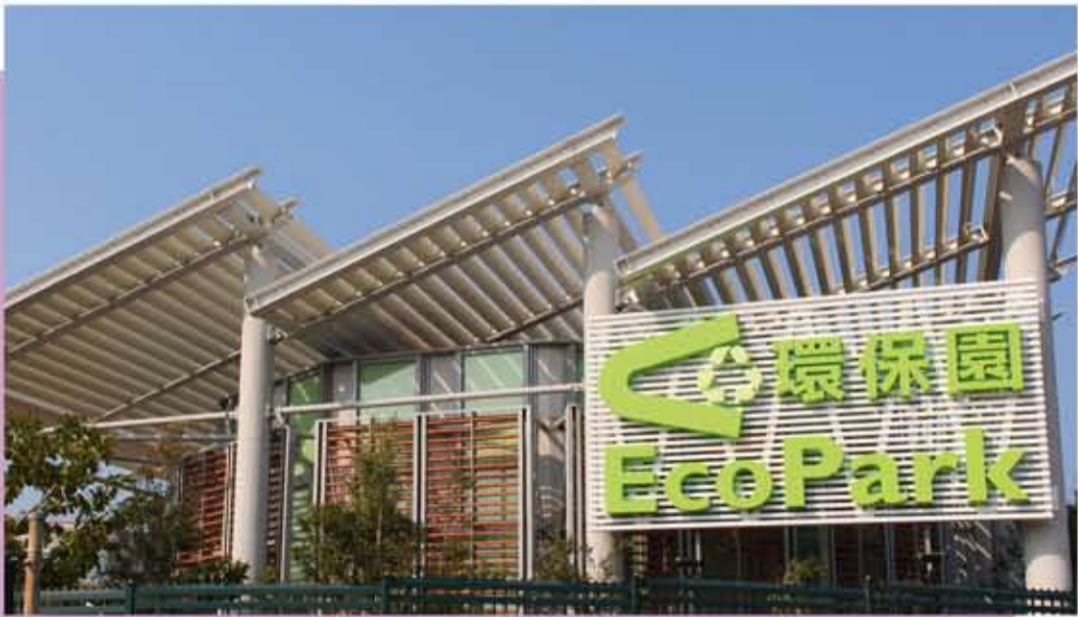
グリーン輸送

- 3億香港ドル(3,870万米ドル)の「グリーン輸送試験基金」は、公共交通部門および貨物用車に対し、電気自動車(EV)など低炭素輸送技術の試用を促すものである
- 三菱自動車のi-MiEV、テスラ・ロードスター、日産LEAF、スミスの商用EVなどがすでに香港市場に参入を果たしており、さらに多くのメーカーの参入が待たれる
- 電気自動車については、自動車登録税が2014年3月まで免除される。香港では、自動車に課される税が最大で車両価格の115%に上ることを考慮すれば、有利なインセンティブと言える



その他

- 環境サービスは、中国本土と香港の自由貿易取り決めである経済貿易緊密化協定(CEPA)の対象業種に追加されており、香港のサービス提供者や香港を拠点とする外国企業は、中国本土で100%子会社の設立が可能
- 「クリーン生産パートナーシップ計画」の下、より環境負荷の低い生産技術の導入に関して、90を超える香港の環境技術サービス提供者が珠江デルタの工場に専門的サービスを提供している
- 香港サイエンスパークは、香港および珠江デルタにおける太陽エネルギーと関連技術の開発を支援するため、太陽エネルギー研究開発支援センターを設立
- 香港政府は、環境関連の展示会やビジネスミッション等の活動への地元企業の参加を支援している。これにより、香港の環境関連企業が経験を共有し、中国本土や海外企業との協力の機会を探る場を提供すると同時に、グリーン経済の発展に向けた香港ブランドの確立を後押し



試験・認証

香港—試験と認証の拠点

香港は試験・認証サービスの主要拠点となっており、200以上の認定を受けた試験機関や検査・認証機関が存在します。香港の試験・認証産業は最高の国際水準を誇り、海外のバイヤーがこの地域で調達する製品の品質と安全性を保証しています。

世界的に製品の安全性と品質がますます求められる中、国際貿易のハブとしての香港の地位を支えるこの産業は大きな可能性を秘めています。



試験・認証

現状と今後の方向性：

- 香港認定局により認定された試験・認証機関は、60カ国以上の80を超える認定団体に認められている
- 試験、認証、検査サービスの対象は広範にわたり、繊維、玩具、電子機器、食品、消費財、工業製品などが含まれる
- 最高品質の製品やマネジメントシステムの認証。ISO9001、ISO14001、ISOガイド65等
- 2009年9月に設立された香港試験認証局は、同産業の強化を図るとともに、特に漢方薬、宝飾品、食品、建設資材の4分野における新たなビジネスチャンスの開拓に取り組んでいる
- 香港の認定試験所は香港で加工された製品（玩具、電気設備、IT機器、照明器具等）について、中国強制認証制度（CCC）用の試験を試行的に行えるようになった。これにより香港の試験・認証産業にとっての中国本土でのチャンスが増え、香港-本土間の貿易が促進される。この試みは範囲を拡大し、香港で加工されるCCC認証が必要な全製品を対象とする予定



教育

香港—アジアの教育ハブ

香港は、アジアの教育ハブとしてその地位を高めることを目指しています。それには香港を特に優れた教育の場としている3つの基本的な強み、すなわち文化的多様性、豊富なチャンス、そして国際水準の教育環境を活用します。

現状と今後の方向性：

国際化の推進

- 高等教育機関における香港外からの学生の枠が10%から20%に拡大
- 入境および就業に関する制限の緩和
— 香港外からの学生は卒業後、最長1年間、無条件で香港に留まり、職を探することができる
- より多くの交流プログラム—毎年3,000名以上の海外の学生が香港を訪問
- 香港で博士課程を履修する学生を世界中から誘致する
PhD奨学金制度—選ばれた学生に毎月の給付金のほか、研究関連の旅費を毎年支給



多様性

- 私立の中等後教育部門振興のため、12カ所の用地を利用可能に
- クイーンズヒルの16.4ヘクタールの土地を、私立教育機関のための用地に指定。学生数は少なくとも8,000人（4,000人の寄宿生を含む）
- 奨学金を提供し、教育の質を向上させるべく、25億香港ドル（3億2,000万米ドル）の私立中等後教育基金を設立
- 香港と深圳の境界に位置する落馬州緩衝区の30ヘクタール超の土地を、高等教育機関および研究開発センター向けの教育地区として開発予定
- インターナショナルスクールの新規建設もしくは既存校の拡張用に、4つの更地を割当て。数年後には、5,000人の新たな生徒に学びの場を提供



HARROW INTERNATIONAL SCHOOL HONG KONG FOUNDATION STONE LAYING CEREMONY

哈罗香港国际学校奠基典礼

26. MAY. 2011



教育

学びの場としての香港の魅力：

- 国際的で自由な環境の中で学べる
- 授業で使用される主要言語は英語
- 国際的に認められた高度な資格が得られる
- グローバルな視点が身に付き、雇用機会が広がる
- 貴重な異文化対応能力が伸ばせる
- 世界で最も急速な発展を遂げる地域の間近で学べる
- 公立9校と私立6校からなる15の学位授与高等教育機関
- 香港の大学はアジアの大学ランキングで常に上位に入っており、うち3校は世界のトップ50校、アジアのトップ5校に含まれる
- 世界およびアジア随一の企業幹部向け経営管理プログラム
- アジアの都市として最多となる48校のインターナショナルスクール。各国の教育課程と国際バカロレアを含む10種類以上のカリキュラムを提供
- 約1,200種の香港以外の教育機関による課程があり、副学位もしくはそれ以上のレベルの教育を提供



技術革新・ 科学技術

香港—イノベーションと技術のハブ

香港はその研究開発力、高度なインフラ、世界クラスの大学、健全な法制度、また強力な知的財産保護体制を活用し、技術革新と科学技術に関するアジアのハブになることを目指しています。

現状と今後の方向性：

香港サイバーポート

- ・サイバーポートは創造的なデジタル・コミュニティであり、100社以上の情報通信技術企業やデジタル・コンテンツ企業の拠点となっている
- ・サイバーポートには、コラボレーション・センター、技術センター、知識センター、起業家センターなどの産業支援センターが置かれ、香港の情報通信技術やデジタル・エンターテインメント産業の成長と発展を牽引

香港サイエンスパーク

- ・香港サイエンス・アンド・テクノロジーパーク社 (HKSTPC) が運営する香港サイエンスパークには、電子、情報技術・通信、精密工学、バイオ技術、および環境技術分野の企業350社以上が入居
- ・HKSTPCの起業支援プログラムは、これまでに香港の技術系新興企業約330社、デザイン関連の新興企業約100社を育成
- ・開発費約49億香港ドル (6億2,800万米ドル) をかけ、同パークの第3期開発が進行中。2013年から2016年にかけて段階的に完成し、テクノロジー企業150社の入居が可能に



技術革新・ 科学技術

技術革新・科学技術基金

- ・ 50億香港ドル（6億4,000万米ドル）の技術革新・科学技術基金（ITF）は、香港の製造業やサービス産業の生産性と競争力の強化、ならびに商業化の推進を図るべく、応用研究開発プロジェクトの資金を提供
- ・ 各ITFプロジェクトの承認された資金のうち最大5割までは、中国本土と香港の研究開発における連携促進の観点から、本土での使用が認められている
- ・ 研究開発現金払い戻しプログラム—2億香港ドル（2,560万米ドル）の研究開発現金払い戻しプログラムは、香港内の企業による研究開発を奨励し、香港の研究機関との協力を促進

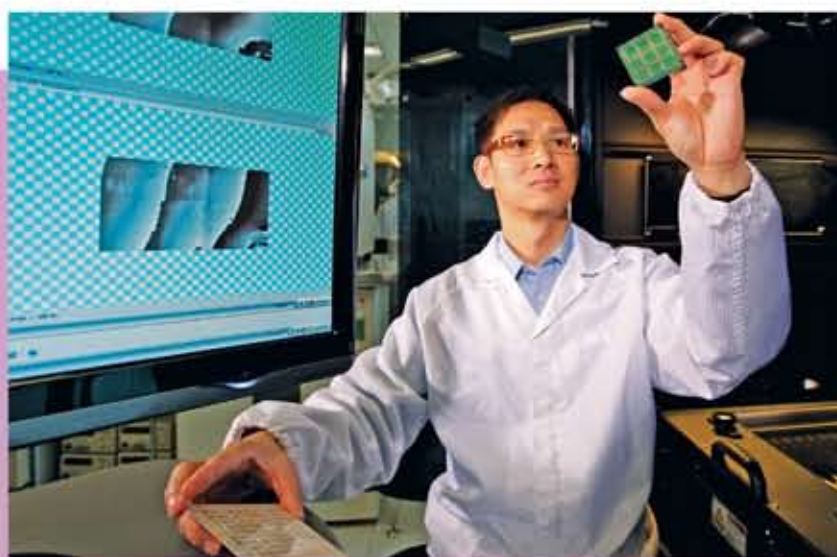


境界を超えた協力

- ・ 「広東・香港技術協力資金提供計画」や「深圳・香港技術革新圏」が、両地域間の科学技術協力を推進。最近の例としては、2011年のBYD社による香港での研究開発センターの設置がある。これは、香港の研究機関と電気自動車の開発で協力することを目指したもの
- ・ 国家第12次5カ年計画は大きなチャンス—国の科学技術部と協力し、国家レベルの科学技術プロジェクトへの香港の参加推進、中国本土の研究機関や企業との協力促進に取り組んでいる。例えば、国家科学技術プログラム専門家データベースに香港の技術専門家を含めることを促し、また中国国家工学研究センターの香港支部の設置や、香港内にハイテク産業拠点を設ける提案についても前向きに検討中である。さらに、本土の科学技術分野での発展を補完する技術クラスターの形成も促進していく

その他

- ・ 香港内に12カ所ある国家重要研究所の提携研究所への追加的資金提供
- ・ 市民に向けイノベーションの文化をPR
- ・ 香港は日常生活におけるスマートカード技術の広範かつ効率的利用において、世界的な評価を得ている。例えば、オクトバスカードは1日当たり1,100万件以上の取引を処理しており、金額ベースでは1億1,000万香港ドル（1,400万米ドル）に上る。人口700万人の香港だが、スマートIDカード利用者数では世界で最も多い地域の一つ



文化・ クリエイティブ 産業

香港—文化と創造性の都市

香港は、映画やテレビ、デザイン、建築、広告、アニメ・漫画、美術、出版、そしてデジタル・エンターテインメントといった活気に満ちたクリエイティブ産業の振興を加速しています。

香港には約32,000社のクリエイティブ産業関連企業があり、188,000人がこの分野で働いています。

クリエイティブ産業は、香港の年間GDPの4% (630億香港ドル、80億8,000万米ドル) を占めており、今後の香港の発展を強力に牽引する部門です。



芸術プログラムの開発、人材育成、芸術教育の推進、観客の拡大、また文化交流を通じて、文化のソフト面を強化するための多面的な取り組みが行われています。



文化・ クリエイティブ 産業

現状と今後の方向性：

- 香港芸術發展局は、文学、公演・視覚芸術、映画、メディアアートなど、香港における芸術の広範な發展を計画、推進、支援
- クリエイティブ産業に関する方針を調整し、同産業にワンストップ・サービスを提供する専門部署「クリエイティブ香港」は、クリエイティブ産業の發展を促すべく7項目からなる戦略を取っている：
 1. 地元人材の育成
 2. 新興企業の支援
 3. 地元市場の開拓
 4. 海外および中国本土市場の開拓
 5. 創造的クラスターの形成
 6. 社会におけるクリエイティブなムードの醸成
 7. 香港をアジアにおける創造の都として位置付けるための大規模イベント展開の支援
- 3億香港ドル (3,870万米ドル) のクリエイティブ・スマート・イニシアティブ (CSI) は、クリエイティブ産業の發展を支援
- 3億2,000万香港ドル (4,100万米ドル) の映画發展基金 (FDF) は、映画産業の振興を支援
- イノセンターは、デザイン新興企業にデザイン起業支援プログラムを提供。同プログラムは事務所スペースに加え、デザイン教育や専門能力開発を提供
- 2014年、ハリウッド・ロードの旧既婚者用警察官舎が、クリエイティブ産業のランドマークとしてオープン予定
- アーティストに割引料金で工業用建物内のスペースを貸し出すための予算を割り当て
- 15億香港ドル (1億9,200万米ドル) を、芸術・スポーツ發展基金に、芸術分野分の元金として注入。毎年の投資収益は、芸術・文化の長期的發展のために使われる



香港についてのより詳しい情報は、
下記までお問合せください：

香港特別行政区政府 駐東京經濟貿易代表部

〒102-0075

東京都千代田区三番町30-1

Tel: 03-3556-8980

Fax: 03-3556-8970

<http://www.hketotyo.gov.hk>